



田村 正幸

学童保育教室に冷房設備設置を

— すぐに工事を行う —

質問

今年の夏は猛暑で、熱中症による死亡者が308人も出たとの報道があった。残暑も厳しいという。先日、保護者から学童保育の教室が暑くて困るので、冷房設備を設置できないかとの電話があった。担当課では扇風機の導入やカーテンの設置を行い、現場では水遊びなどを取り入れて暑さをしのいでいる。暑さから子どもたちを守ることに、安全・安心に保育を行う観点からは職員の労働環境の整備も大事だ。早急に設置すべきと考えるが伺います。

町長答弁

学童保育施設は学校を開所したため、当初から冷房設備がなかった。又現場からもここ3年間設置の要望がなかったため、本年も例年どおりの対応をしていた。今年の夏は異常な暑さだったことから、緊急避難的な保育を行わざるを得なかった。保育教室の日当たりや風通しを考慮して、今年度の早いうちに冷房設備を設置することとし、今回の補正に計上した。可決後直ちに工事を行います。

住宅リフォーム支援事業を商店・民宿等の事業者まで拡大できないか

— 緊急に動きます —

質問

緊急経済対策として住宅リフォーム支援事業が始まった。しかし開始の時期、2年の期間、個人住宅限定のために8月末の申し込み数を見ると効果はあまり出ていない。軽微の修理修繕や店舗のリフォームを考えている民宿・商店・土産屋等の事業者まで拡大することで、経済対策の効果がさらに高まり、基幹産業の支援にもなる。これらの事業者まで拡大できないか伺います。

町長答弁

8月現在で申し込み数は18件、補助対象事業額は1,303万円。補助金額は144万1千円でした。目的が緊急経済対策として

緊急対策の支援拡大を早急に

湯沢町の関係事業者の振興を図ることからは少なかつた。23年度からの枠の拡大についてこれから検討してゆきたい。

質問

町の経済は低迷し疲弊しています。緊急の経済対策が必要です。23年度からではなく早急に取り組んでいただきたい。

町長答弁

緊急に対応したい。

町民がもっととスキーを楽しむために

— 方法を模索してみたい —

質問

スキーが伝わって100年。スキーのメッカとして湯沢町は発展してきた。スキーは湯沢にとって一番の産業で入れ込み観光客数の6割がスキー客である。スキー産業の町として町民がもっとスキーを楽しむ環境を作れないか。これを内外に発信することで誘客の拡大が出来ないかと思う。ス

町長答弁

当面は三国三俣地域のようにならぬように各小学校のスキー大会の開催に合わせ、地区間行事として実施している事業の支援や、苗場滑降のような既存の大会の周知・広報を行い町民参加を呼びかけたい。「スキーの日・スキー週間」には趣旨に賛同するがスキー関連産業で生業を立てる多くの町民にとって、多忙の時期にどうしたらスキーを楽しむ環境を作れるのか、又索道協会への協力の強要や町の大きな財政負担にならない手法で出来る方法を模索してみたい。

一般

質問

質問